

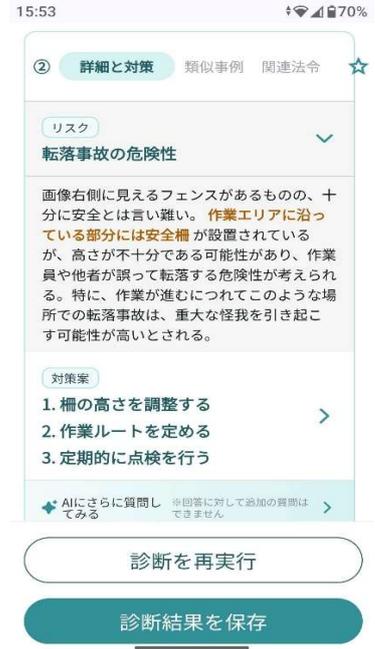
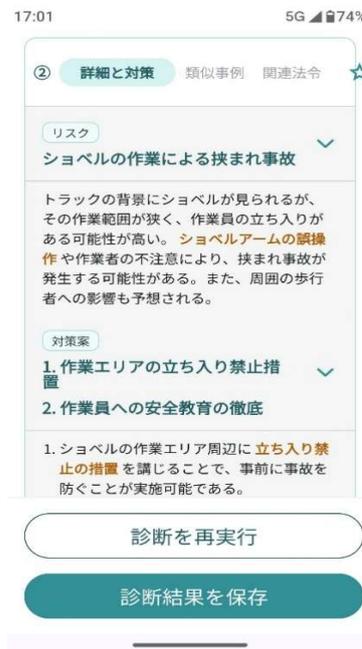
(様式—1) 新潟国道事務所 技術研究発表会 (令和7年度)

1	表題(課題)名	安全意識向上と安全対策	
2	工事(業務)名	R6下須頃地区道路改良工事	
3	受注者名	小柳建設 株式会社	
4	工期	令和6年8月8日～令和8年2月27日	
5	担当技術者(立場)名	現場代理人	(こみやま ひろき) 込山 裕基
6	担当主任監督(調査)員	黒崎維持出張所長	
7	課題区分名	⑥安全管理 ()	
8	工事(業務)概要	一般国道8号下須頃地先において、道路拡幅部の盛土を行う工事。	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
	<p>一般国道8号大島病院前交差点～須頃3(南)交差点間の交通事故削減を目的とした事故対策工事であり、本工事は大島病院前交差点～下須頃交差点間の道路改良を行う工事である。</p> <p>現場内は狭く、限られた範囲での同一作業の連続であり、慣れによる事故が予想されたため、現場全体で安全意識の向上を常に図り、労働災害防止に努める必要があると考えた。</p>		
10	【実施内容】		
	<p>①AI安全支援アプリの活用 その場で撮影した写真をAIによりリスク分析し、危険箇所の特定および対策を提案、過去の事故事例をもとに類似のリスクや関係法令を提供できるアプリを活用した。</p> <p>②墜落・転落防止措置 補強材組立や埋戻しで盛土端部へ寄ることが多かったため、端部からの墜落・転落災害防止措置として、補強盛土鋼製枠に直接取付できるように作成した転落防止柵を設置した。</p>		
11	【実施結果】		
	<p>①AI安全支援アプリの活用により同一作業の繰り返しで薄れていく危険意識を定期的に見直すことができた。また、分析結果をもとにリスクの発見、再認識、低減措置の再検討を実施、安全教育やKY活動に反映して、常に安全意識を高めることができた。</p> <p>②転落防止柵は墜落制止用器具の使用に比べてかけ忘れや未使用などが原因による転落リスクが低減され、作業員の移動が多い場合効果的であり、より安全に作業を行うことができた。</p>		

(様式—2)

【実施内容等】

①AI安全支援アプリ



完璧に現場のリスクを抽出できるわけではないので補助的に活用。

②転落防止柵

